

2007. 3. 21 in National Hospital Organization Tokyo Medical Center

クリニカル・リンク

～力学・運動学・神経生理学 etc...～

○○○○○○○整形外科

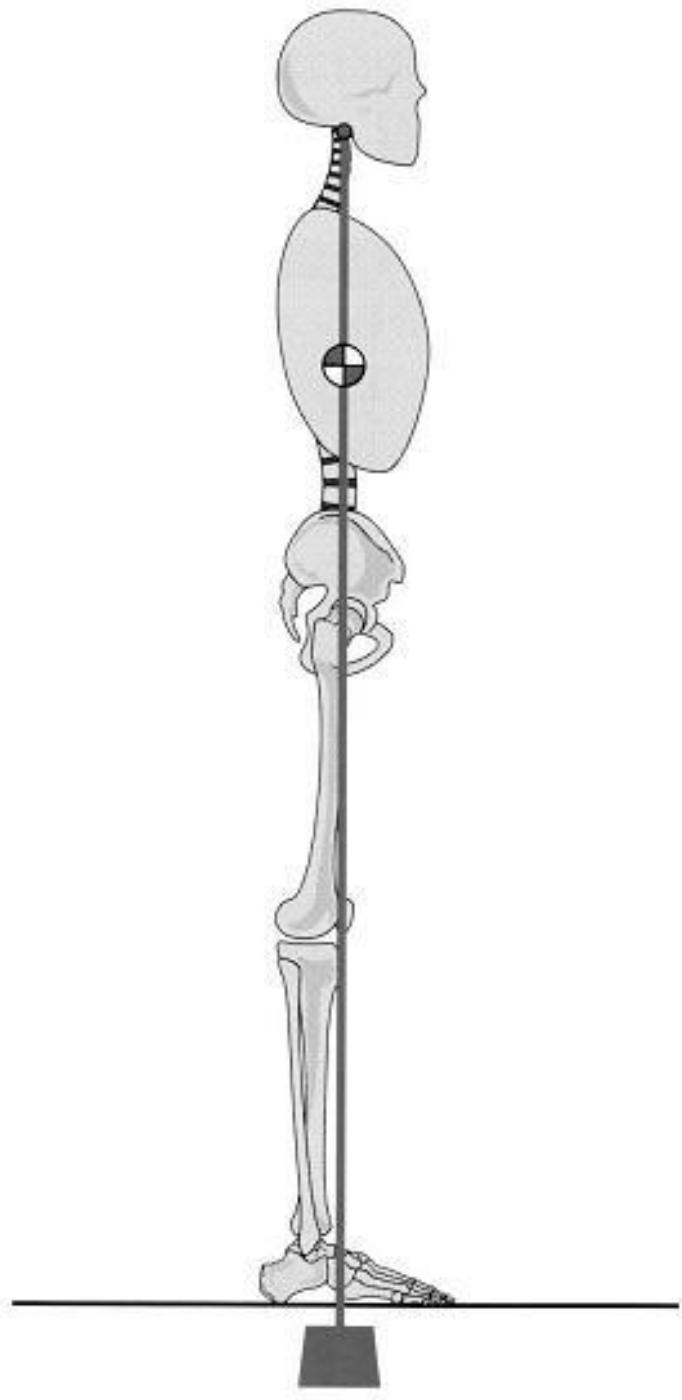
安里 和也

今日のお話

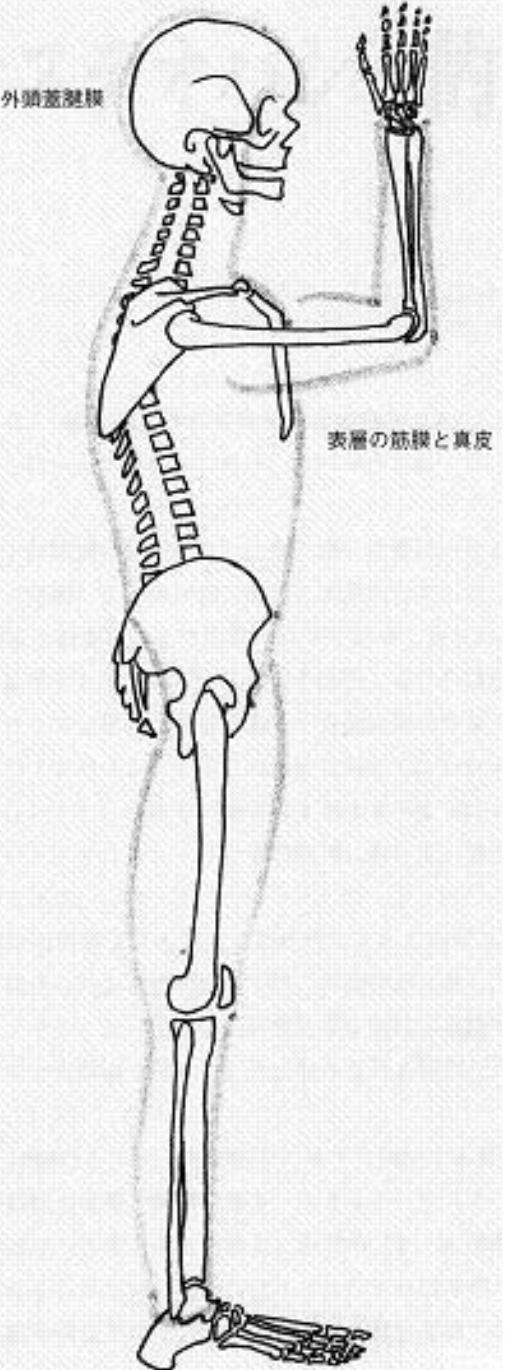
- 力学 ≒ 姿勢
- 筋膜
- 神経生理学的解釈

- 実感

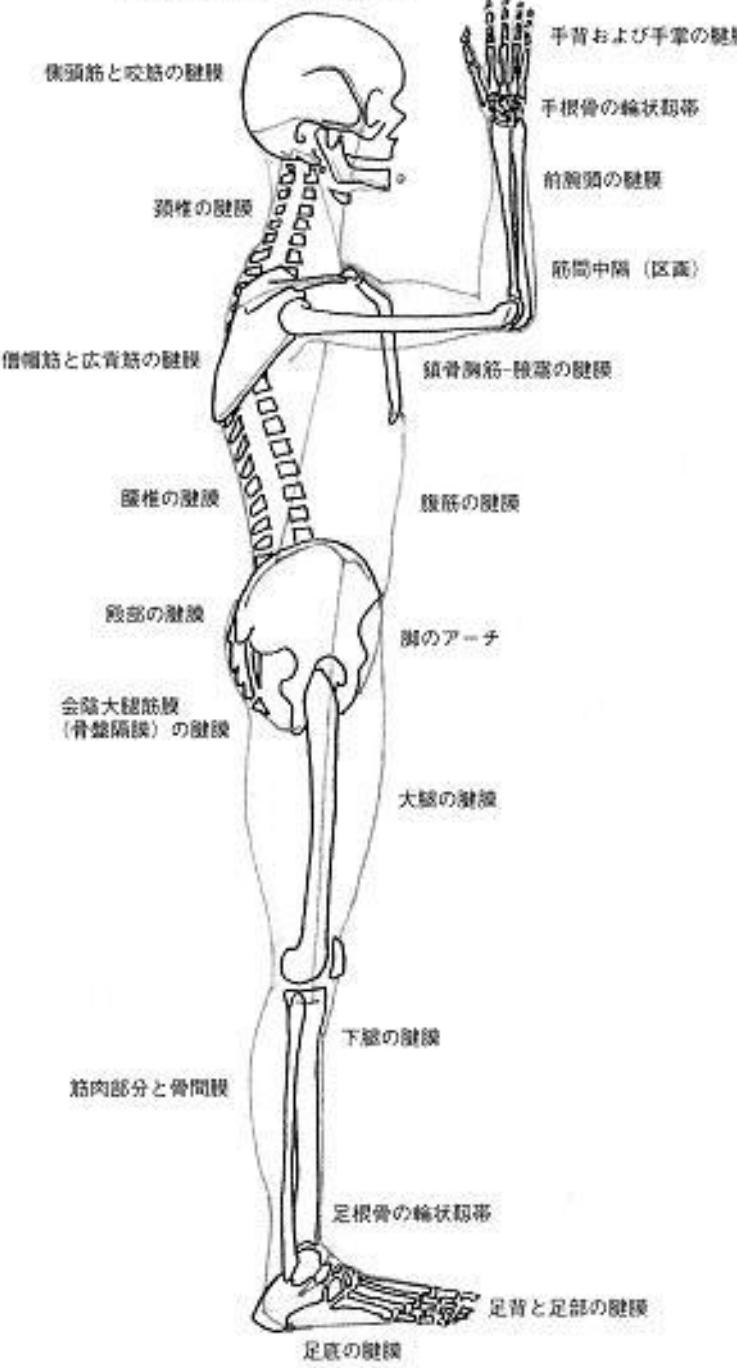
姿勢を変化させて重錘を持ってみよう！！



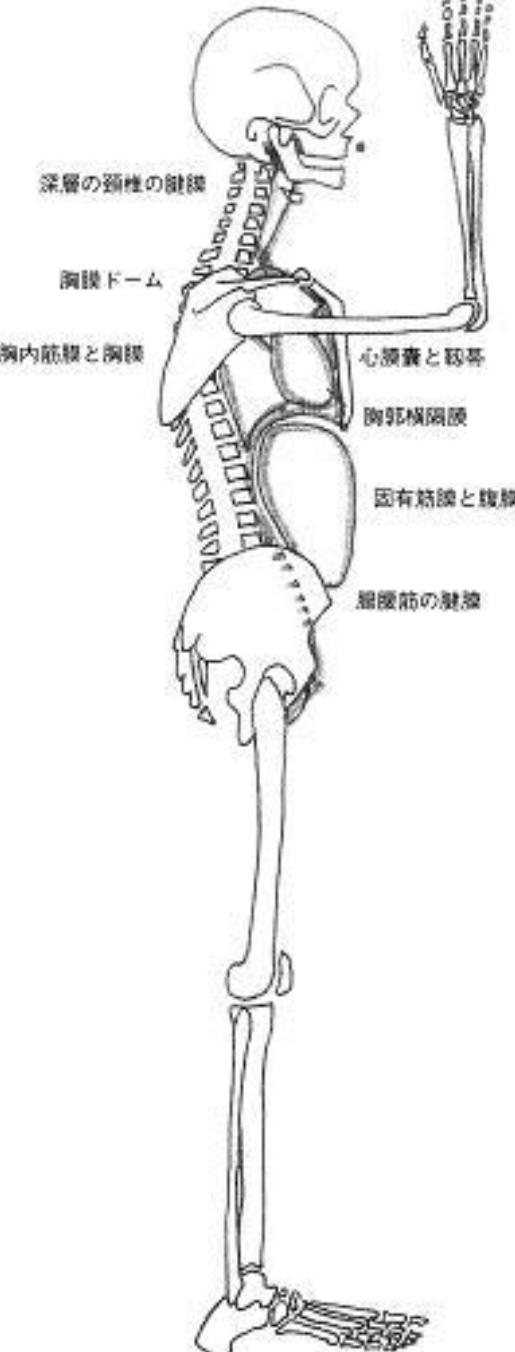
表層の筋膜：生体力学系

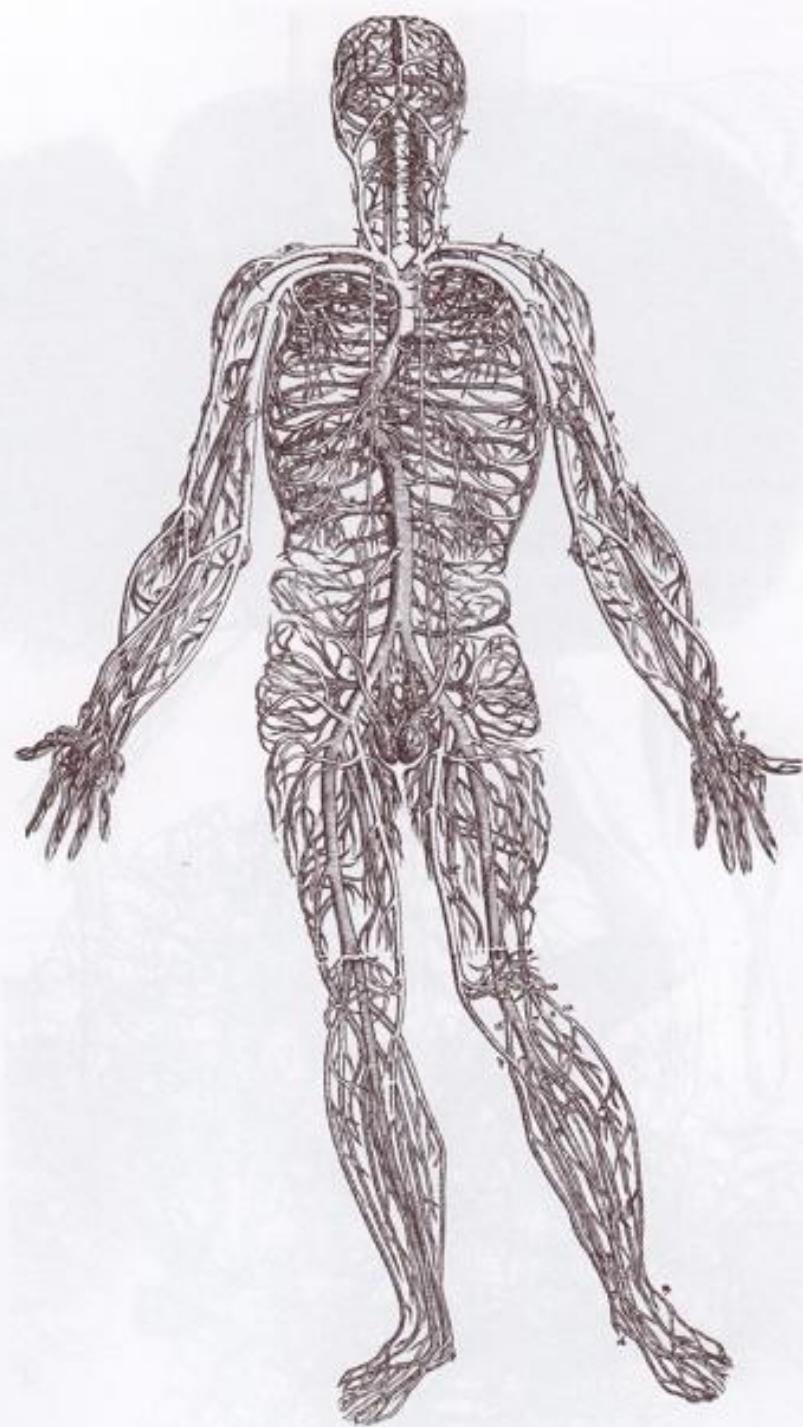
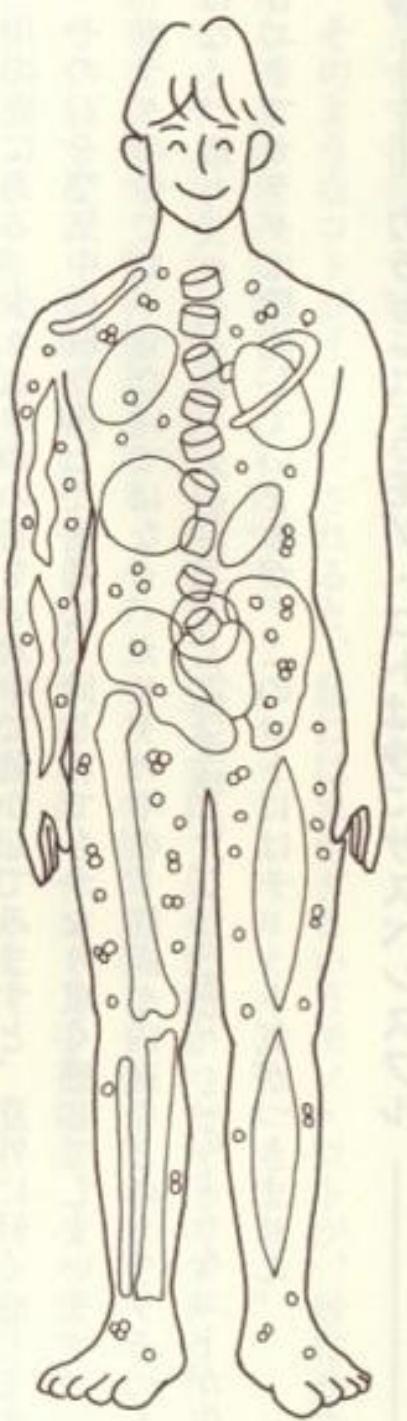


浅層の筋膜：筋骨格の生体力学系



深層の筋膜：内臓器の生体力学系







A



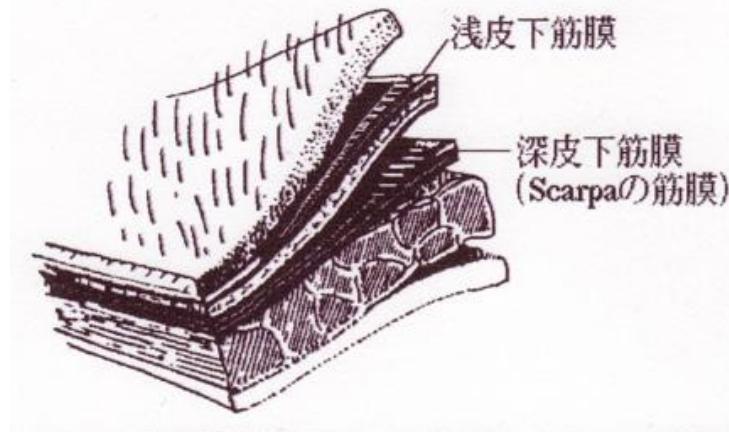
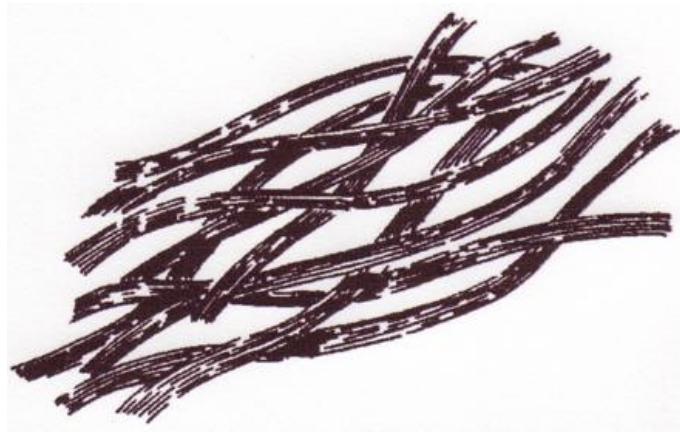
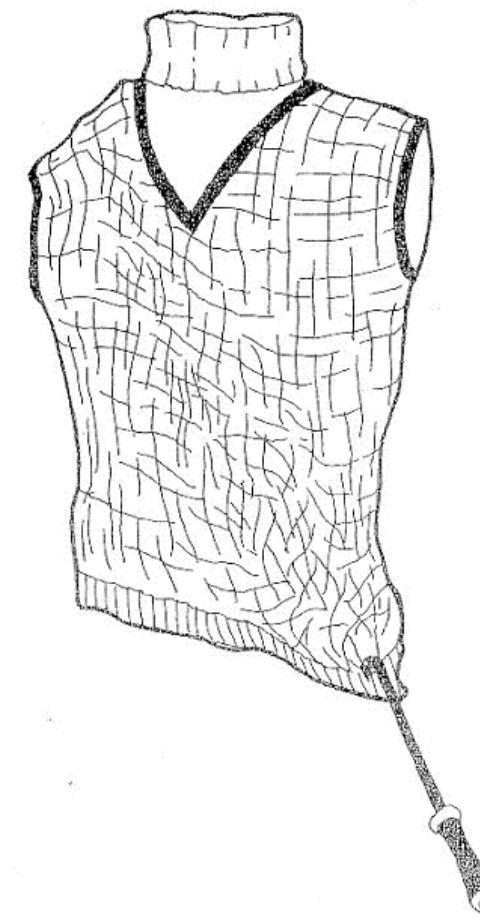
B



C



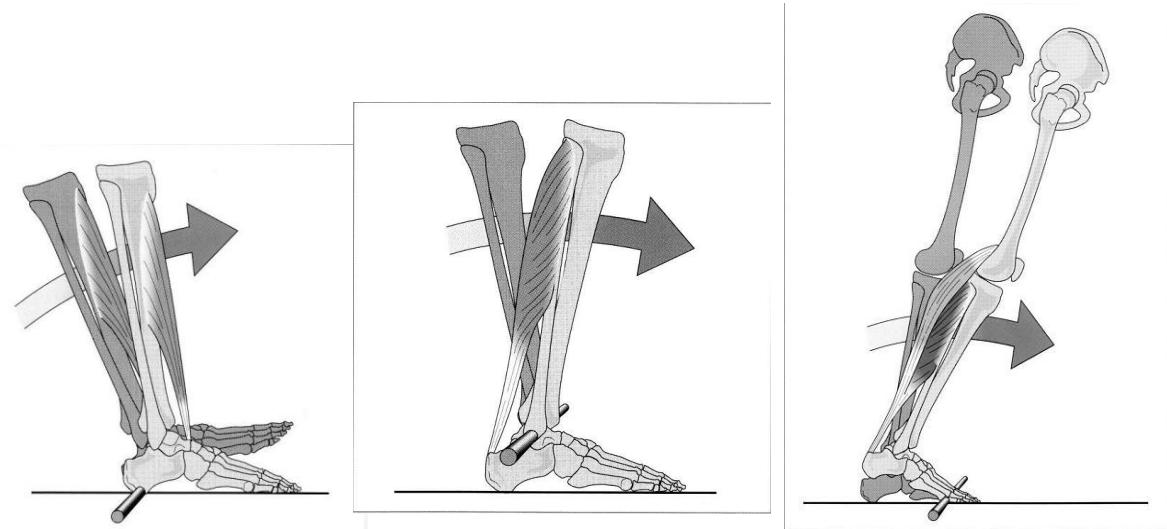
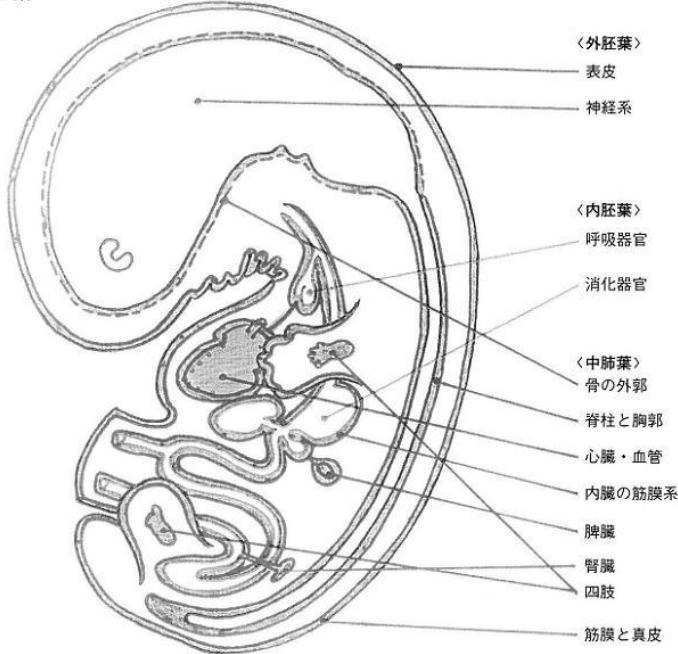
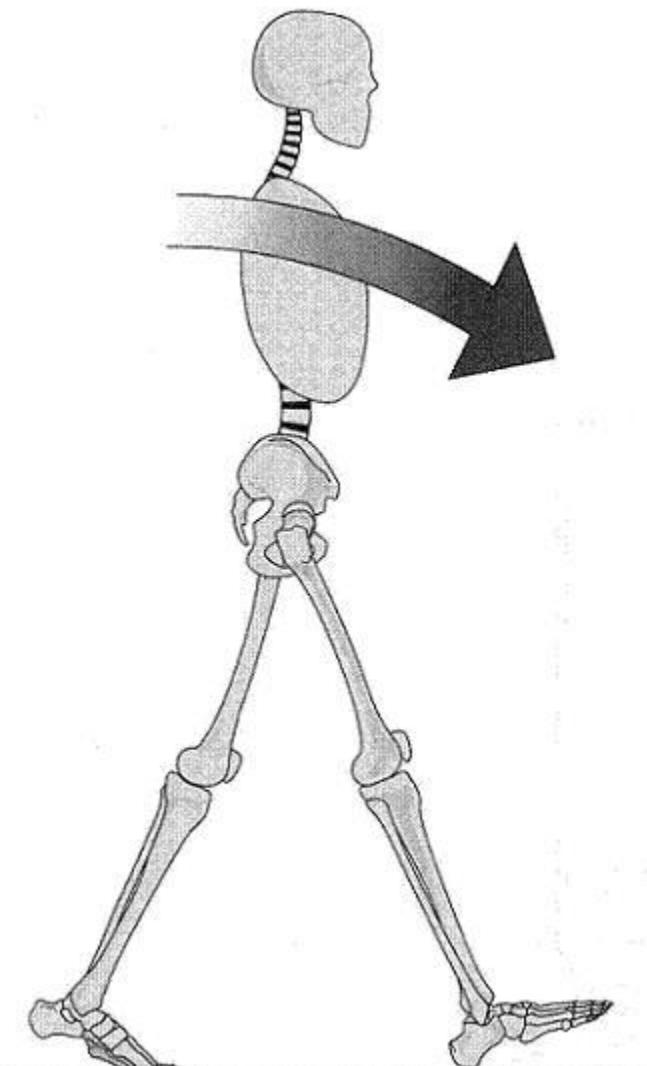
D



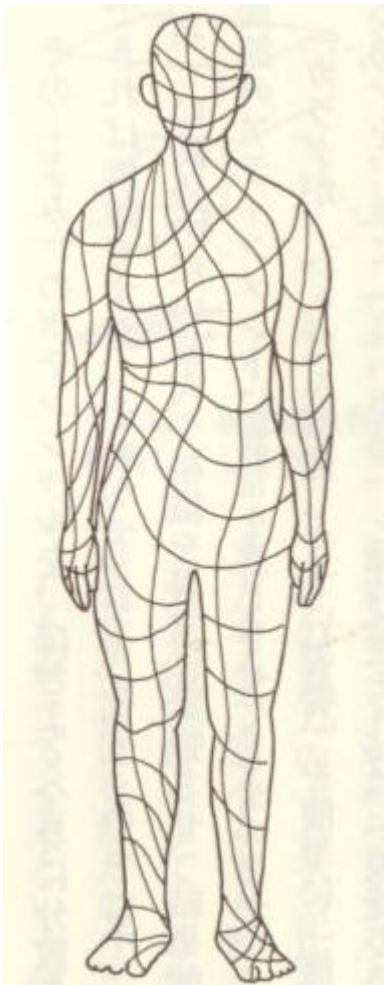
浅皮下筋膜

深皮下筋膜
(Scarpaの筋膜)

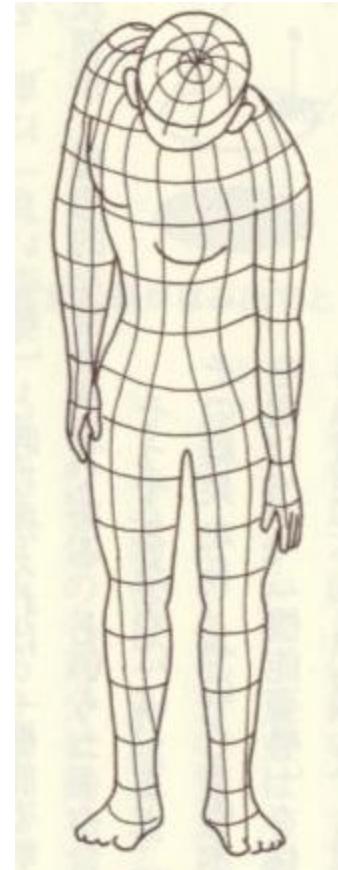
中胚葉



2007. 3. 21 in National Hospital Organization Tokyo Medical Center



社会通念上の良い姿勢



機能的姿勢

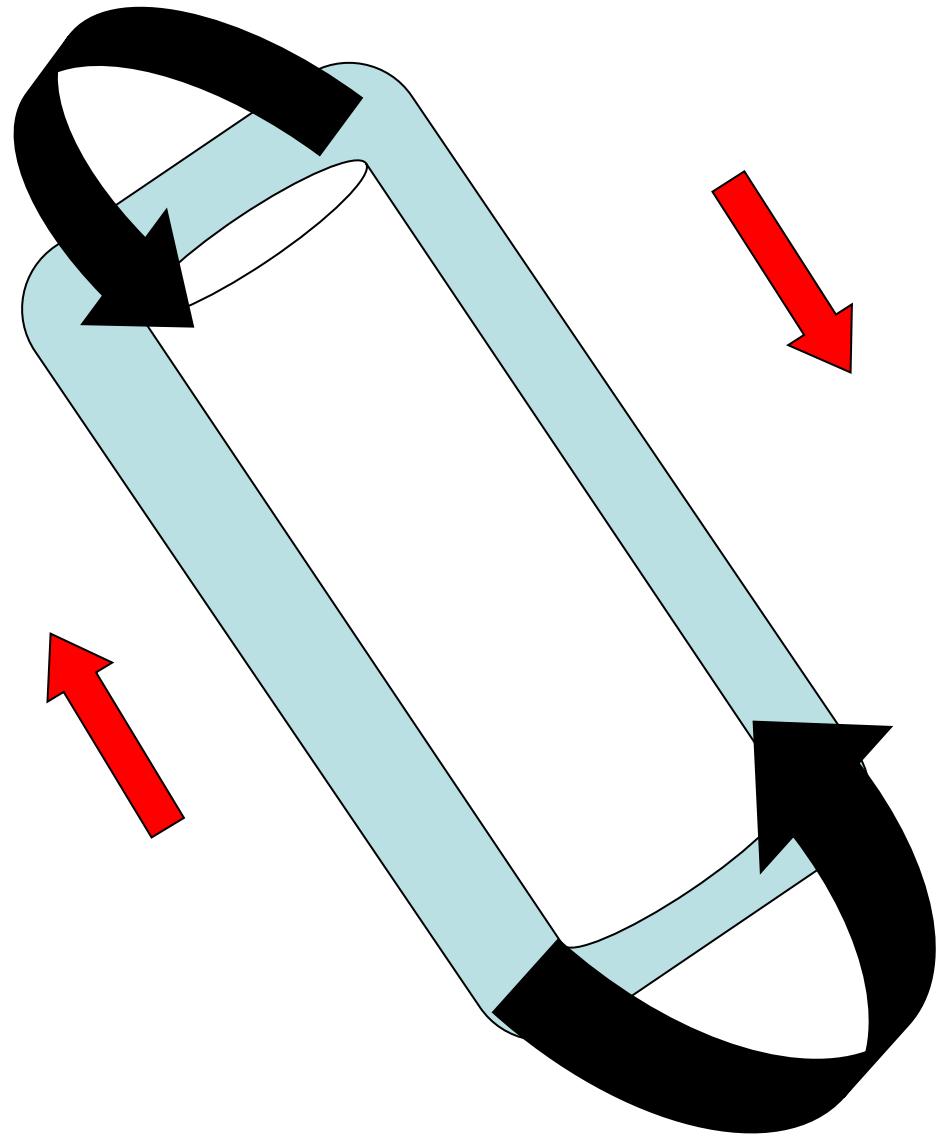
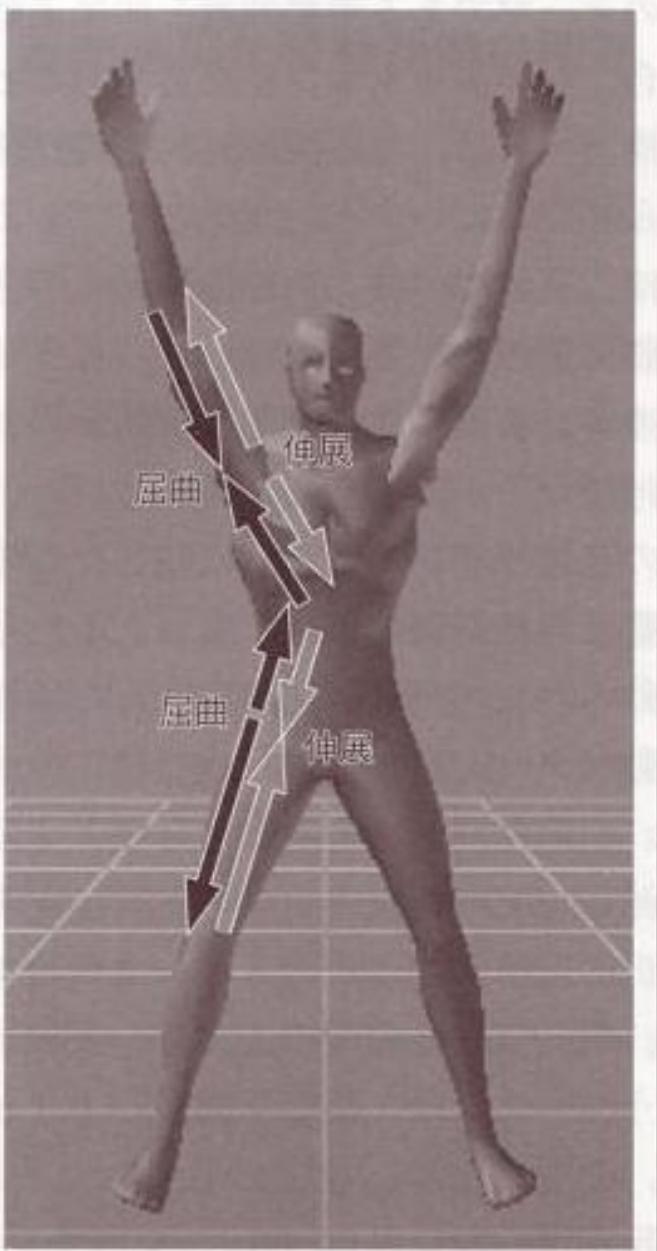


図 皮膚・浅層筋膜にみられる運動の
例

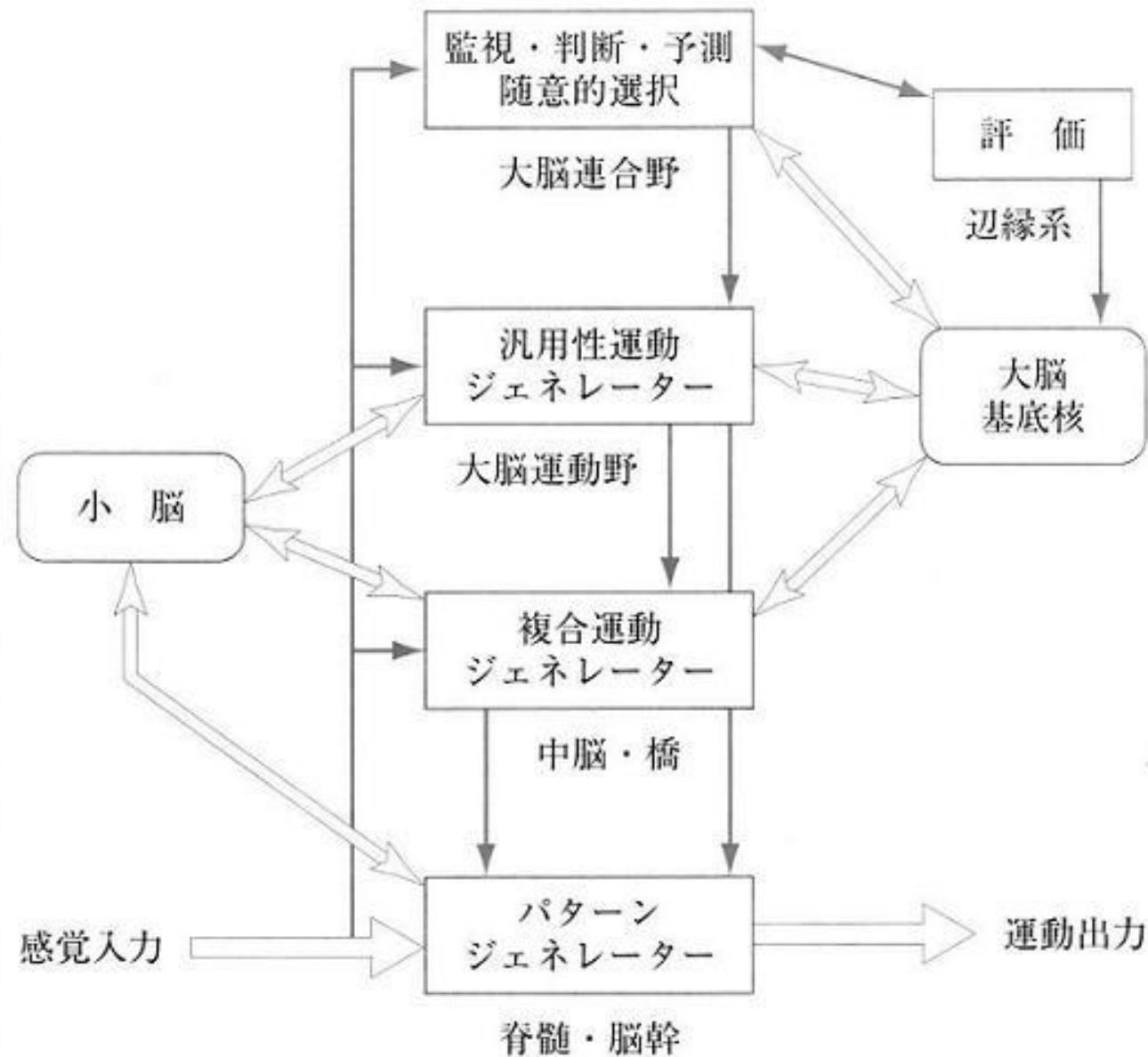
保護伸展反応

バランス反応

立ち直り反応
(橋網様体脊髄路
前庭脊髄路)

延髄網様体脊髄路

外側皮質脊髄路
(赤核脊髄路)



症例紹介

- 43歳 男性
- 診断名：腰椎々間板損傷 (2007.3.12 診断)
- 受傷機転：3月9日仕事にて重い物を運搬し、
その夜から腰痛出現。
3月12日 受診 薬物・シップ処方
3月19日 理学療法開始
- 現在の症状：両腸骨稜辺りのツツパリ感
坐位(+) 臥位(-) 立位(-) 歩行(-)
- X-P所見：L2-3 L4-5間 狹い

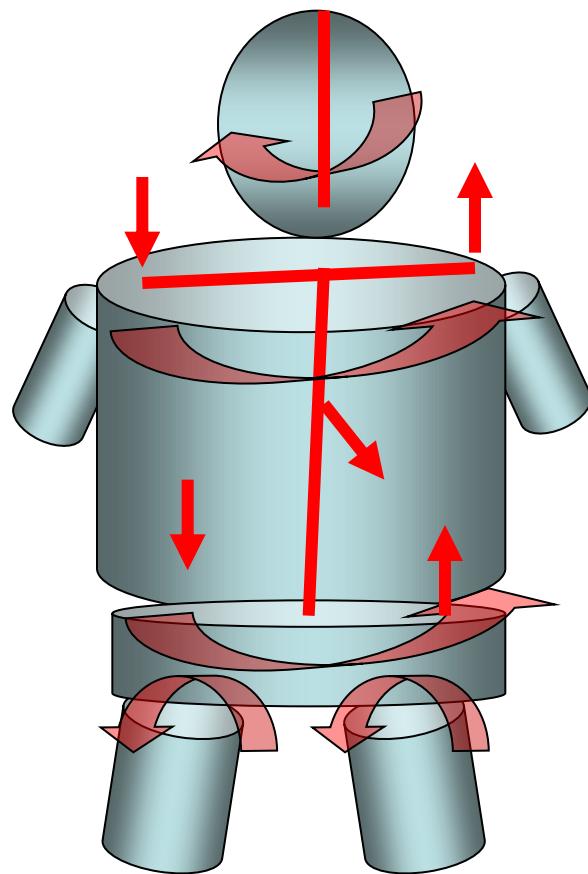
- ・職業：大工 重いもの持つことが多い
- ・家族：4人 ⇒ 妻、子供2人（2歳、0歳）
- ・趣味：マラソン（1～2/月）
- ・既往歴：腰、左？ふくらはぎ、右肘、
左膝
- ・手術歴：右小指伸筋腱縫合？

Test

介入前



Test



主なBOS=左後方

上肢拳上テスト：右 胸郭右回旋
左 頸部左側屈
※重さ 右>左

下肢拳上テスト：右 骨盤右回旋
左後方傾斜
左 骨盤左回旋
左後方傾斜
※重さ 右=左

リーチ課題

胸郭介入後

介入前



下肢筋膜介入後



歩 行

介入前

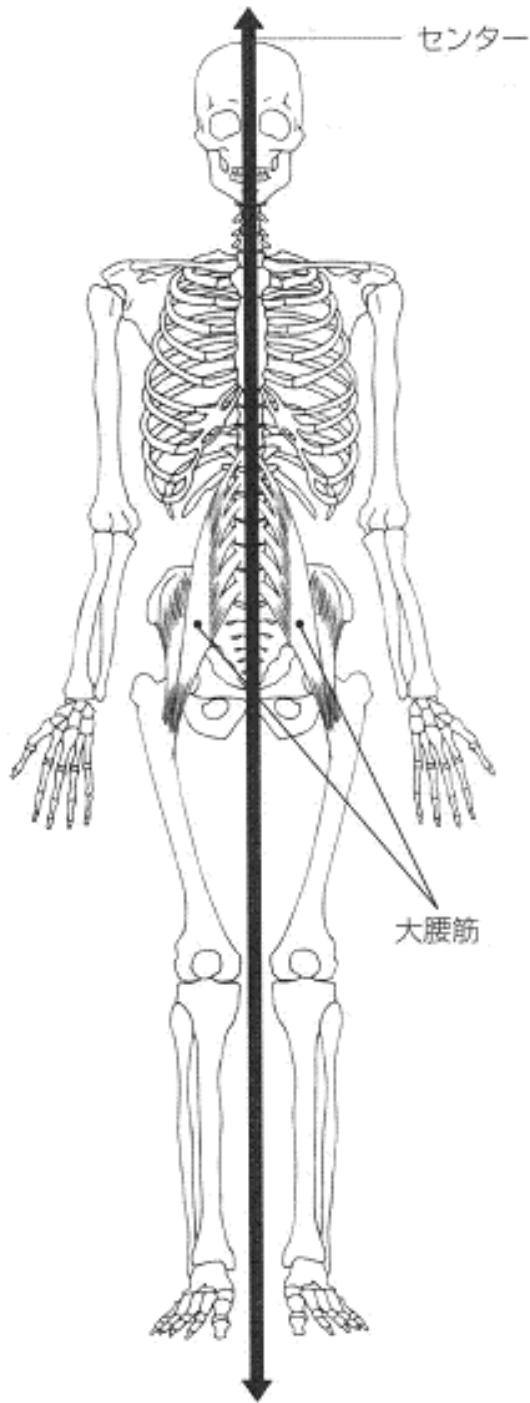


下肢筋膜 介入後



Approach

- 胸郭・股關節・足底 relaxation
- 骨盤前後傾運動
- 下肢筋膜 relaxation



まとめ

- “姿勢・ヒトの動き” とは全身リンクされた運動制御の結果である。
- その結果というものは、身体情報をなんらかの処理過程を経て出された反応（出力）である。
- しかし、その分析方法は多方面から考えることが可能であり、多彩な視点も必要である。
- 感覚運動モデルで考えると本来は、どの相での問題なのかを明確にし、アプローチすることで、学習効率の良いPT戦略を選択しやすくなるのではないか？

- ・ご意見・ご感想などお聞かせ願います。
- ・まだまだ迷っている話です。
- ・みなさん一緒にディスカッションさせて下さい。
- ・ご清聴ありがとうございました。

m(_ _)m m(_ _)m m(_ _)m

oooooooo整形外科 安里和也

oooooo@oo.jp